



平成25年度 和歌山県高等学校生徒科学研究発表会

編集：向陽高校SSH事務局

同時開催：親と子どものためのきらめき“夢”トーク

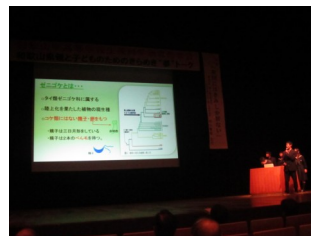
課題研究発表「薬品を使わず行う校内池の浄化」 優秀賞受賞

12月20日(金)、平成25年度和歌山県高等学校生徒科学研究発表会が和歌山県民文化会館で行われました。この発表会は、県内スーパーサイエンスハイスクール3校(海南高等学校・日高高等学校・向陽高等学校)と理数科系専門学科のある学校の生徒、および理数系分野に関する課題研究実施校の生徒の交流を促進し、理数系分野における今後の活動の拡大、充実を図ることなどを目的として開催されています。

本校からは、環境科学科2年生「SS探求科学Ⅱ」の課題研究から19テーマ、物理部、理学部からそれぞれ1テーマの計21テーマのポスターセッション発表が行われました。また、生物ゼミ「ゼニゴケの受精に関わる雌株DNAの解析」、「日前宮の社寺林における土壌動物のササラダニ類を用いた環境調査」の2テーマが舞台上で口頭発表を行いました。環境科学科1年生も参加し、様々な発表を聞きました。1年生は、来年度取り組む課題研究についてのヒントを掴んだようです。また、ポスターセッションで本校だけでなく、他校の生徒の発表に耳を傾けることで、2年生、1年生ともに他校との交流を深めていました。全体会でも、生徒達は積極的に質問し、発表者と議論を交わしていました。

「親と子どものためのきらめき“夢”トーク」が同時開催され、TVでのコメンテーターとして有名な青山繫晴先生(独立総合研究所代表取締役社長兼近畿大学経済学部客員教授)に講演をしていただきました。青山先生からは、演題「祖国にはきみしか居ない」を通し、現在の世界の現状や、これまでの日本の歩んできた歴史、エネルギー問題などについて、非常に興味深い話をしていただきました。

表彰式では、多数の発表の中から、本校環境科学科2年生から環境ゼミの「薬品を使わず行う校内池の浄化」がポスター発表において優秀賞を受賞しました。



1年普通科・環境科学科・向陽中学生

青少年のための科学の祭典

2013おもしろ科学まつり和歌山大会に出展

12月14日(土)・15日(日)の2日間、和歌山大学において“2013おもしろ科学まつり和歌山大会”が開催されました。

本校から「ニボシのかいぼう」、「綺麗な模様のハガキをつくってみよう」、「虫をじっくり見てみると」、「ラムネをつくらう」、「カラフルな焼きそば」、「-196℃の世界」というタイトルで6つのブースを出展し、1年生普通科・環境科学科の生徒と向陽中学生が担当しました。食べ物を材料に色の違いを化学変化の視点からみるブース、昆虫を顕微鏡でじっくりと観察するブース、水面に浮かした専用絵具でマーブル模様等をはがきに色付けするブースなど、参加した多くの方々に、実験を体験していただきました。

向陽の生徒達は、それぞれのブースで子どもたちに優しく接し、自作の説明ボードを用いて丁寧に説明していました。参加した子ども達は、現象の不思議さだけでなく、その理由も理解し、科学の楽しさを感じ取ってもらえたようです。



今後の予定

2月6日(木) 5限 先端科学講座(普通科2年理系対象)【化学系講座】大阪府立大学 岡勝仁教授

2月18日(火) 向陽SSH成果発表会【課題研究発表：2年環境科学科】プレゼン見学 2年普通科理系生徒
ポスターセッション見学 向陽中3年生